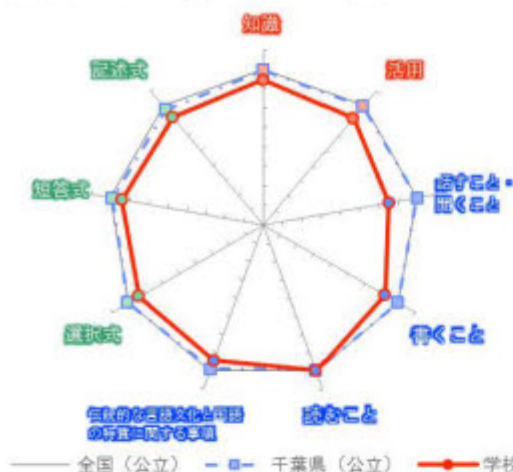
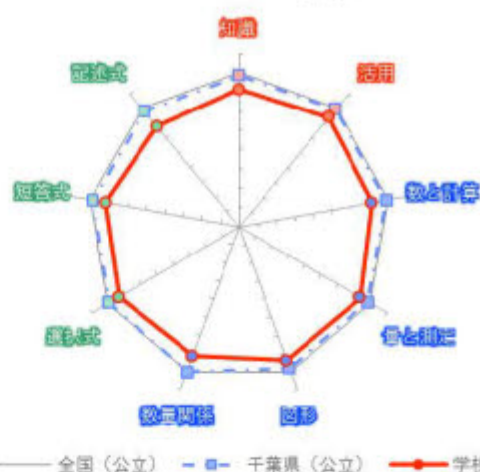


國語



算数



3 結果分析

(1) 学習面について

国語科の伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項や読むことなどの正答率は、平均に近い値となりました。教科書の音読や読書活動の奨励を行っている効果が現れていると思われます。しかし、書くことや、話すこと・聞くことの正答率は平均より低くなりました。目的や意図を的確に捉えたり、目的や意図に応じて考え書いたりすることに課題があります。

算数科は、どの領域においても全国平均を下回り、小数の加減乗除の計算や百分率を用いた割合、平面図形などに誤答が多く、記述式の問題では無解答も見られました。今まで以上に、基礎的・基本的な事柄の習得に力を入れていく必要があります。

(2) 児童質問紙調査から

「毎日、同じくらいの時間に寝ている、同じくらいの時間に起きている」と回答している児童は全国平均より、少なかったです。「授業以外に1日1時間以上、勉強する」と回答している児童が多かったです。教科書を使いながらの予習・復習の時間や、土日に勉強する時間はやや少なめでした。土日を含めた家庭学習の時間が長い児童、予習をしたり、自分で計画を立てて学習したりしている児童の方が、正答率が良い結果ができました。「平日1日3時間以上テレビ・ビデオ・DVDがついている」「3時間以上テレビゲームやメール、インターネットなどを行っている」と回答している児童が多く、テレビやテレビゲームの時間が短い児童の方がよい結果ができました。

また、地域や社会の出来事に関心がある児童は、よい成績であるという結果も出ました。さらに、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と回答している児童が全国平均より少なかったです。物事を最後までやり遂げ、達成感を味わった児童の学力は高いという結果も出ています。

4 まとめ

- 子どもたちの興味・関心・学習意欲を高め、「わかる授業・楽しい授業」を推進していきます。個別支援や算数科の少人数指導・習熟度別学習等に力を入れ、学力の向上に努めます。自分の考えを多様な方法で書くことや、グループでの話し合い・学級での発表の場を増やし、表現力を身につけさせたいと思います。
- 学級活動や学年・学校の行事等を充実させ、児童の活躍の場を大切にします。一人一人に最後まで取り組み、児童の頑張りを認め「ほめる」指導を心がけ、自信をもたせていきます。自分の良さがわかり、自己存在感や自己有用感をもち、夢や目標をもてる児童の育成に努めます。
- 規則正しい就寝・起床、朝食は、とても大事です。睡眠をしっかりと、朝食を食べるなどの生活習慣がきちんとしている児童は、学習意欲もあり、精神的にも安定しています。また、「テレビやゲームの時間が長い」「宿題や家庭学習をしていない」児童も見られます。児童の学力の向上や適切な生活習慣の確立は、学校と家庭とが協力し合うことで達成できます。引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いします。